

地域防災における男女共同参画の推進事業【神奈川県横浜市】

個別事業費

994千円

交付金額

497千円

地域の実情と課題

これまでの災害においては、様々な意思決定過程への女性の参画が十分に確保されず、女性と男性のニーズの違いなどが配慮されないといった課題が生じていた。地域防災拠点において、女性の意見が方針決定に適切に反映されるために、より多くの女性が担い手として参画できるような取組を進めることが重要である。

事業の特徴

地域防災拠点の運営に女性の視点を取り入れることの意義を共有し、地域の防災活動への女性の参画を促進するために、地域防災拠点の役員や拠点に携わる女性を対象とした研修を実施し、避難所における女性等に配慮した環境の整備や、女性や子供を狙った犯罪の抑制に向けた取組、被災生活で女性等が相談しやすい体制づくりに繋げる。

事業の効果

「男女ニーズの違いに配慮した防災研修」には114名、全3回の「女性の防災担い手研修」には延べ64名が参加したほか、出前講座を4回実施し、地域防災における男女共同参画の重要性について普及啓発を図った。

目的・目標

地域防災拠点の運営に女性の視点を取り入れることの意義を共有し、地域の防災活動への女性の参画を促進する。

	目標	実績	達成率
事業目標	受講者の中で地域防災において女性の参画が重要であると考える割合 70%	99.1% (R8.3.31時点)	141.2% (R8.3.31時点)

連携団体

- ・公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会（企画・運営）
- ・各区地域防災拠点（周知・参加、参加者の推薦）


今後の課題

横浜市の地域防災拠点において、運営委員長・副運営委員長等の役員のうち、女性は約2割にとどまっている。女性リーダーの育成とともに、女性参画の必要性について、男女ともに理解できる場を作っていくことも求められる。今後は、今年度の内容を踏まえ、効果的に実施できるよう、対象者や研修内容を検討する。

事業の概要


①男女ニーズの違いに配慮した防災研修



日時	会場	内容
1/31(土)	男女共同参画センター横浜北(青葉区) 	<ul style="list-style-type: none"> ●基調講演:避難所運営にいかす男女共同参画の視点とは 講師:浅野幸子(減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表) ●能登半島地震の被災地から 講師:橋本豊美(珠州市元避難所運営代表) 講師:橋本竹子(NPO法人ピースウィンズ・ジャパン珠州市事務所事業統括) ●トークセッション(浅野幸子、橋本豊美、橋本竹子) ●研修報告と今後への抱負(「女性の防災担い手研修」修了生3名、浅野幸子)

②女性の防災担い手研修(3回連続講座)



日時	会場	内容
①9/30(火) ②10/21(火) ③11/18(火)	男女共同参画センター横浜北(青葉区) 	<ul style="list-style-type: none"> ①安心できる避難所づくり～市内地域防災拠点の事例を聴く 講師 男女共同参画センター横浜職員 旭区東希望が丘小学校地域防災拠点運営委員長 緑区中山小学校地域防災拠点運営委員長 ②もしものときにも平時にも大切な”話し合う力” 講師:浦山絵里(ひとつくり工房esuco(ゑすこ)代表) ③男女共同参画の視点から見た避難者の困りごとについて学んできたことを使って話し合い、解決に向けた選択の幅を広げる 講師:谷本恵子(災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ事務局)

③出前講座

日時	会場	内容
9月~10月	各地域防災拠点(4拠点)	「男女ニーズの違いに配慮した防災」をテーマ等、各拠点の要望に基づいた内容を実施 講師:横浜市男女共同参画推進協会職員

結果・実績

	目標	実績	達成率
事業目標	受講者の中で地域防災において女性の参画が重要であるとする割合 70%	99.1% (R8.3.31時点)	141.2% (R8.3.31時点)